

# 地震に備え 家族守ろう

三 沢

気象予報会社「アップルウェザ  
ー」(青森市)を設立し、気象予  
報士と防災士の資格を持つ工藤  
淳さん(74)が5月25日、三沢市公  
会堂で開かれた市民大学で「最近  
の気象変化と災害への備え」と題  
して講演した。能登半島地震をは  
じめ全国各地で災害が相次ぐ中、  
防災の話に比重を置き、日頃から  
万全の備えをする大切さを訴え  
た。

工藤さんは「大切な家族を守る  
ためにも、備蓄こそ重要」と説き、  
飲料水や懐中電灯、電池やカセツ  
トこんろといった準備・持ち出し  
用品リストを紹介。特に崩れた建  
物に閉じ込められた際、周囲に生  
存を伝えるための道具として「笛」

## 気象予報・防災士 工藤さん講演



の重要性を指摘した。このほかス  
ーパーやコンビニエンスストアで  
突然の揺れに見舞われた際には  
「買い物かごをかぶり頭を守って」

などとアドバイスした。

最後に「防災の心がけは『まご  
か』より『もしかしたら』。まご  
か地震は来るまい—ではなく、も  
しかしたら来るかもしれない—と  
思って、毎日を通じてほしい」  
と呼びかけた。

この日は市民約20人が参加。同  
市の主婦小泉弘子さん(65)は「い  
つ青森県にも大地震が起きるか分  
からない。今回の教えを教訓に備  
えをしていきたい」と話した。

市民大学は、日頃の生活に役立  
つ知識を身に付けてもらおうと、  
市立中央公民館が主催して毎年行  
っている。今後は▽特殊詐欺や悪  
質商法への対処法▽大河ドラマに  
見る女性の活躍▽健康的な入浴法  
—をテーマに8月まで3講座を行  
う。受講は無料だが、参加には事  
前の申し込みが必要。問い合わせ  
は同公民館(電話0176-6387  
11)へ。

日常的に地震に備える  
必要性を説く工藤さん

(松田啓志)